

●5つのメニューに活用する「ふるさと納税」

事業の財源として 活かします

22年度予算での 「ふるさと寄附金」の使い方

高山祭と古い町並 ~ふるさと伝統応援~

- 市内遺跡発掘調査費
松倉城跡、高山城跡などの調査
事業費/500万円(うち寄附金・基金32万円)

緑豊かな農山村景観 ~ふるさと原風景応援~

- 歴史街道等活用事業
位山道、江戸街道などの整備
事業費/600万円(うち寄附金・基金23万4千円)

飛驒牛と匠の技 ~ふるさとブランド応援~

- 観光土産品奨励振興事業
高山ブランドパッケージデザインの作成
事業費/100万円(うち寄附金・基金6千円)

人情あふれる飛驒人のあたたかさ ~ふるさとふれあい応援~

- 公園整備事業費(まちの庭整備)
市街地の空き地を利用して小公園を整備
事業費/1,000万円(うち寄附金・基金68万4千円)

みんな応援したい ~ふるさとおまかせ応援~

- まちなか居住促進事業
中心市街地への定住に対する補助
事業費/2,860万円(うち寄附金・基金469万2千円)

21年中に寄附者のみなさんから寄せられたふるさと納税は、22年度に市が取り組む事業の貴重な財源として活かしていきます。

- 寄附金の合計 296万8千円
- 飛驒高山ふるさと基金 296万8千円
- 合計 593万6千円



松倉城跡の石垣。松倉山頂に構築された山城で高山盆地を眼下に見おろします



苺安峠(一之宮町)へと向かう位山道。石畳の道が残っています

4月から始まる 「子ども手当」制度

次代を担う子どもの育ちを支援するため、中学校修了前までの子どもについて子ども手当を支給する制度が創設されました。

- 支給対象 中学校修了までの子どもの父母など
- 手当月額 子ども1人につき月額1万3千円(所得制限なし)
- 支払月 6月、10月、2月(それぞれの前月までの手当を支給)

*対象者には、4月下旬に申請書を発送する予定です。

問合せ先 子育て支援課 ☎35-3140

くにしまみちひろ
國島芳明副市長が3月31日付けで退職しました。後任は空席となります。

4月は窓口が大変混雑します

証明書の取得はカンタン便利な 証明書自動交付機で

市内3カ所に設置している証明書自動交付機では、休日や夜間でも各種証明書が取得できます。

取り扱いできる証明書

住民票、印鑑登録証明書、戸籍、戸籍の附票、所得証明書、所得課税証明書、課税証明書

設置場所・利用時間

- 市役所・山王福祉センター
平日/午前8時30分~午後7時 休日/午前8時30分~午後4時30分
- 市図書館「煥章館」

開館日/午前9時30分~午後9時30分

※ご利用には住民基本台帳カード(住基カード)、またはシティカードが必要です。
(シティカードは住民票、印鑑登録証明書のみ)



新しくなった交付機。タッチパネルで操作も簡単です

問合せ先 市民課
☎35-3496

◎転入・転出に関係する窓口業務の受付時間を延長しています。
4月4日(日)まで/平日の午後7時(4月3日(土)・4日(日)は午前9時~午後4時)